



鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)
2月中旬 13.5℃
平年より 1.5℃高め

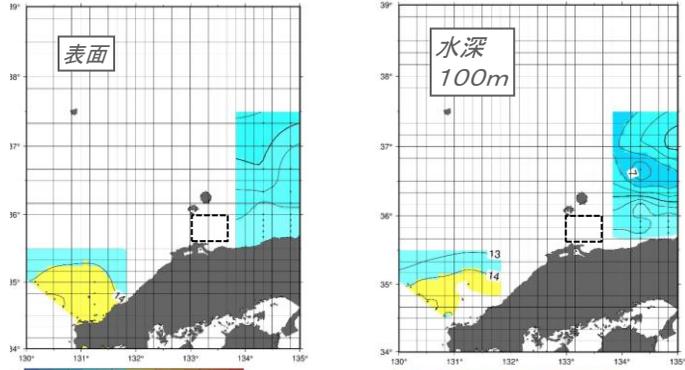
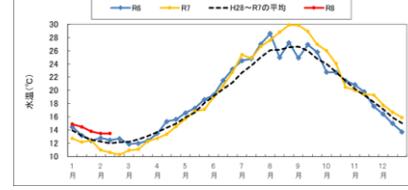


図1 表面 図2 水深100m
隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は欠測のため不明。

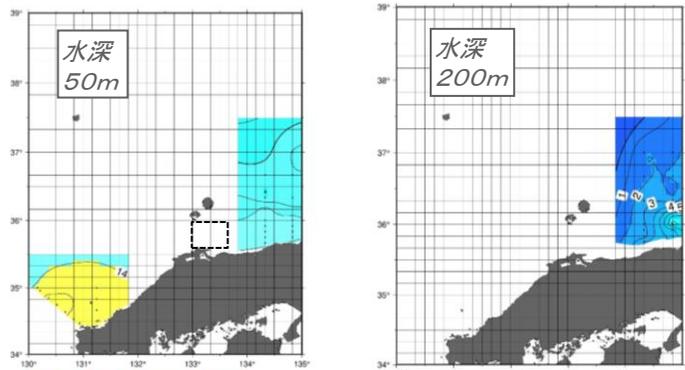


図3 水深50m 図4 水深200m
平均水温は欠測のため不明。鳥取県東部沖に10℃以上を示す暖水域は確認されなかった。

水産試験場

本年度も(一社)漁業情報サービスセンターと合同開催し、海洋環境の見直し、沖合漁業における水産資源の動向や今後の漁模様についての説明・意見交換会を下記のとおり開催します。興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください!!(参加料無料)

記

日時 令和8年3月17日(火) 午後1時から午後4時まで
場所 鳥取県営境港水産物地方卸売市場2号上屋 2階大研修室 (鳥取県境港市昭和町9-7)

内容 【第一部】境港水産関係者との意見交換会((一社)漁業情報サービスセンター主催) 午後1時～午後2時10分

1. まき網漁船の魚群探知機データを使った重要浮魚類の資源調査の試み (国研)水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部 主幹研究員 加賀敏樹 北海道大学工学部 環境循環システム部門 助教 岡田夏男
2. 近年の海況とマイワシ・マサバ・マジの来遊状況 (一社)漁業情報サービスセンター 水産情報部 技師 源浩輔

【第二部】令和7年度第2回境港地区漁漁況連絡会議(鳥取県水産試験場主催) 午後2時20分から午後4時

1. 海洋環境等の見直しについて 海洋環境、スルメイカ 浮魚資源室 研究員 足立惣平
2. 小型浮魚類の見直しについて マジ、マサバ、マイワシ 底魚資源室 研究員 野澤草太
3. 底魚類の見直しについて スワイガニ、ハタハタ、アカガレイ、ソウハチ、マダラ 底魚資源室 主任研究員 藤原大吾
ベニスワイガニ 底魚資源室長 尾田昌紀

令和7年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

2月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域	10℃以下の冷水域は不明(当該海域で未観測)
隠岐諸島北方の冷水域	10℃以下の冷水域は不明(当該海域で未観測)
山陰・若狭沖冷水域	鳥取東部沖N36°10'以北に10℃以下の冷水域が認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れ、主流の一部は隠岐諸島北方冷水域および山陰・若狭沖冷水域に沿って流れると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

最新機器を用いた海洋調査を実施中です ～第26回水産研究・実践活動報告会より～

境港総合技術高等学校は県内唯一の水産系専門高校で、海洋練習船「若鳥丸」等を活用して海洋調査を実施しています。

先日2月10日に開催した実践活動報告会では、海中ドローンを使用した境港沖一文字防波堤での藻場調査、美保湾での人工魚礁調査、併せて水温観測も実施したことを、高校を代表して2名の学生に報告していただきました。今後も引き続きデータを収集し、漁業者の要望を聞きながら地域により一層貢献していきたいとのことです。学生の皆さんの今後の活躍に期待したいところです。

人工魚礁(上段:シンセ、下段:黒潮)の海中写真と水温データ

【漁業調整課からのお知らせ】
鳥取県でのブルーカーボンの取組支援のためのロゴマークができました!

海藻や海草の群落(藻場)が二酸化炭素を吸収し、海中に留める仕組みを「ブルーカーボン」と言います。漁協や県で立ち上げた「鳥取県の豊かな海を育む協議会」では、藻場を作り育てる取組をしてブルーカーボンの機能強化にも努めている漁業者などの支援をしています。昨年度は10地区で行われたアラメ種苗の植付やムラサキウニ駆除などの活動を支援した他、学校での環境教育のサポートなどの普及活動にも取り組みました。

この鳥取県版ブルーカーボンの支援の輪を広げたいために、活動のシンボルとなるロゴマークを作成しました。取組やロゴマークに関心を持たれた方は漁業調整課までご連絡ください。(電話:0857-26-7303)

栽培漁業センター

イワノリ研究をはじめました

冬の風物詩であるイワノリは、岩場の波打ち際に生えるため、採集に危険が伴いますが、その味と香りから高価で人気の高い海藻です。

実は、このイワノリには多くの種類があり、60年以上前に鳥取県水産試験場が県内に分布するイワノリ分類を行い、5種が記録されています。

今回、イワノリ増殖の要望があったことから、サンプルを採取し形態を観察したところ、オニアマノリと、イワノリの中でも最高級品のワッブルイワノリと思われる個体を確認しました。さらに、これらの母藻から、その種ともいえる「果胞子」を得て、発芽させることに成功しました。今後もサンプルの採集や情報収集などについてご協力をお願いします。

発芽した果胞子 10~15μm
細胞のふちに鋸歯(きょし)がある
オニアマノリ
鋸歯(きょし)がない
ワッブルイワノリ

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530